

コーセー創業 70 周年記念の取り組みについて

株式会社コーセー(本社:東京都中央区、代表取締役社長:小林 一俊)は、2016 年 3 月 2 日に、創業 70 周年を迎えました。当社は本日から 2017 年 3 月末までの約 1 年間を“70th YEAR”と位置づけ、様々な場面で、お客さまをはじめとするステークホルダーの皆さまに感謝の気持ちを伝えるとともに、70 周年を契機とした様々な取り組みを通じ、世界に向けて更なる飛躍を目指してまいります。

当社は、戦後間もない 1946 年 3 月 2 日に、小林孝三郎によって東京都王子区(現在の北区)王子に、資本金 10 万円、従業員 4 名で「小林合名会社」を創業、その 2 年後の 1948 年に現在のコーセーの前身となる「株式会社小林コーセー」に改組し、化粧品の製造販売を開始しました。創業以来、人々に夢と希望を与える化粧品に限りない情熱を注ぎ、特に、全国の化粧品販売店との直接取引による強固な販売網と、数々の業界初の画期的な商品を世に問う商品開発力を強みに、成長を続けてきました。

そして 1991 年に CI(コーポレートアイデンティティ)の刷新を行い、現在の「株式会社コーセー」へ社名変更するとともに、「英知と感性を融合し、独自の美しい価値と文化を創造する。」という存在理念を掲げ、現在のような多様なブランドを擁するマーケティング戦略を導入、多様化する販路や消費者ニーズに対応することで、業態を進化・拡大させて参りました。さらには 1999 年に株式を店頭公開、翌 2000 年 12 月には、東京証券取引所市場第一部への上場を経て、今日に至っております。

《 ご挨拶 》

創業 70 周年を迎えるにあたり、日頃より当社の商品をご愛顧いただいているお客さまや、当社の事業をサポート下さっている様々なステークホルダーの皆さまに、心より感謝を申し上げます。

創業以来、時代の変遷や消費者ニーズの変化に対応するために、我々自身も大きく変化して参りましたが、創業時の「化粧品を通じて、世の中を明るくしていきたい」という想いや、社是として連綿と継承されている「正しきことに、従う心」を基本とする企業姿勢、そして、化粧品を使うお客さまの視点を第一に、オリジナリティの高い商品を、相応しい販路を通じて提供するという“高付加価値へのこだわり”は、70 年を経た現在も変わりません。

これからも、このような“守るべきこと”を継承しながらも、時代の変化に合わせて進化を続け、特に、日本の化粧品に対する世界中の消費者からの高い期待に、より一層応えていくためにも、活動の場を日本を起点にアジアから欧米へ、グローバルかつシームレスに拡大して参ります。そして、持ち前のチャレンジ精神を発揮して、これまでにない新たな価値を創出し続けることを通じて、“美しい知恵を人と地球へ”提供し続ける企業として、さらなる飛躍を目指します。

引き続きご支援くださいますよう、お願い申し上げます。



小林 一俊

<創業 70 周年の取り組みのご紹介>

1. 70 周年記念ロゴマークの作成

創業以来支えていただいた多くの方々へ感謝の気持ちを表し、社員一同、創業時の想いを改めて心に刻むために、創業 70 周年を記念したロゴマークを作成しました。

このロゴマークは「地球」をテーマとして“未来”や“躍進”をイメージしたデザインで、丸い地球(世界)をやさしくリボンで包み、“コーセーの商品を世界中の人びとに贈り届けたい”という想いを込めています。今後 1 年間にわたり、当社の取り組みや関連プロモーションを行う商品などを通じて、このロゴマークを発信していきます。



(2016 年 1 月 5 日 70 周年記念ロゴ表記商品リリース)

- ・「雪肌精 ハーバルジェル」 <http://news.kose.co.jp/pdf/news/2016010504.pdf>
- ・「インフィニティ パーフェクティブ ホワイト XX」 <http://news.kose.co.jp/pdf/news/20160105.pdf>

2. 70 周年を機に、web からコーセーをグローバルに発信

3 月 2 日から、70 周年を記念した期間限定 web サイトを開設します。このサイトでは、社長の小林からのメッセージをはじめ、コーセーの創業期からの商品や企業としての歴史など楽しみながらご覧いただけるとともに、70 周年期間中に予定している様々な取り組みなどについても随時お知らせしていく予定です(2016 年 3 月 2 日～2017 年 3 月 31 日まで開設)。

また、グローバル化対応の一環として、4 月には「70 周年記念サイト」とあわせて「企業情報サイト」の英語、中国語(簡体字)への対応も行なっていきます。



<70th記念 web サイト>

「70th記念 web サイト」日本語版 URL: <http://www.kose.co.jp/company/ja/70th>

3. 「基盤研究所」の建設と研究開発拠点の再編成

東京都北区栄町(王子)の製品研究所と隣接する場所に、2019 年春竣工を目指し、新たな研究施設を建設します(3 月 2 日発表リリース参照)。現在、都内に分散(北区王子、板橋区小豆沢)する研究拠点を隣接する場所に集約することで、さらなる研究開発スピードの早期化と、研究員同士のコミュニケーションにおける量と質の向上、業務効率化を図ることで、企業競争力を高め、企業価値の向上につなげてまいります。



<新研究所イメージ>

今回建設予定地となる王子の地は、当社が 70 年前に創業した縁のある場所であり、徒歩圏には、当社の研修施設「コーセー王子研修センター」もあります。当社の「モノづくり」の拠点である研究施設と、「人づくり」の要である研修施設がこの地に集約されることで、我々の価値創出にも磨きがかかり、企業力強化に資するものと考えます。

【新基盤研究所概要】

建設予定地：東京都北区栄町 46-3（現 技術情報センター）

敷地面積：2,167 m²

延床面積：約 4,300 m²

設計：日建設計

計画概要：地上 3 階、地下 1 階 RC 造

投資額：40 億円

竣工予定日：2019 年 3 月

4. 東京ヘアメイク専門学校の校名変更

東京ヘアメイク専門学校（所在地：東京都北区、理事長：小林保清、校長：宇佐美昭次）は、2016 年 4 月より「学校法人 コーセー学園 コーセー美容専門学校」へ校名変更します。東京ヘアメイク専門学校の前身である「コーセー高等美容学校」は、1968 年に当社（株式会社コーセー）の創業者でもある小林孝三郎が設立し、自ら初代校長として「人づくりを大切に」の理念のもと、数多くの美容のスペシャリストを世に送り出してきました。

この度の校名変更により、従来にも増して当社との結びつきを深め、美容の世界を目指し、チャレンジする若者の夢を全面的にバックアップし、美を追求するプロとしての自信と誇り、技術力と社会性を身につけた人材を生み出してまいります。



「コーセー美容専門学校」ホームページ： <http://www.hairmake.ac.jp/>

5. CSR 活動としての取り組み

「fukushima さくらプロジェクト」

当社は 2013 年より、東日本大震災の復興の象徴となる新種のさくら“はるか”を、全国各地に届けることを通じて、福島・東北を継続して支援する「fukushima さくらプロジェクト」に参加しています。この中で当社ならではの活動として、化粧品の販売を通じて、その売上の一部を“はるか”の増殖費用として寄付し、昨年 4 月には、これまでに育成してきた“はるか”の苗木の、記念すべき 1 本目を「福島会津若葉幼稚園（福島県会津若松市）」に寄贈、植樹を行ないました。

（2015 年 4 月 17 日リリース） <http://news.kose.co.jp/pdf/news/20150417.pdf>

創業 70 周年を迎える今年も引き続き、“はるか”が、未来を担う子供達の夢と希望とともに育つことを願い、3 月 11 日に「千葉県浦安市立入船小学校(千葉県浦安市)」に、2 本目の苗木を贈呈します。

(2016 年 2 月 5 日リリース) <http://news.kose.co.jp/pdf/news/20160205.pdf>

また、昨年まで会津若松市の鶴ヶ城にて実施してきたプロジェクションマッピングを中心とするイベントについては、今年は会場を福島県白河市に移します。震災発生から 5 年目を迎え、徐々に薄れがちな震災への記憶を次世代に確実に遺し、福島・東北への復興支援を継続する機運が風化しないことを願って、引き続き今年も、『福島プロジェクションマッピング 2016 はるか』への協賛として継続することを決定しました。

『福島プロジェクションマッピング 2016 はるか ～白河 花かがり～』

日時:2016 年 4 月 15 日(金)、16 日(土) 1 日 4 回上演

※4 月 14 日(木)にはマスコミ向け内覧会を開催予定

会場:白河文化交流館「コミネス」(現在建設中)

福島県白河市会津町 1-17

観覧:入場無料 事前予約制(下記サイトで 3 月 4 日より受付開始)

公式サイト: <http://www.fukushimasakura.jp/2016/>



※今回のリリースでご紹介した事業や活動については、今後も引き続き情報提供を行なってまいります。

このニュースに関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社コーセー 広報室 TEL 03-3273-1514(直通)